

早稲田大学大学院

アジア太平洋研究科

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-21-1 早大西早稲田ビル7F TEL. 03-5286-3877

e-mail gsaps@list.waseda.jp http://www.waseda.jp/gsaps

アジア太平洋研究科 東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩10分、都電荒川線「早稲田」駅下車 徒歩5分
JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅下車 バス「西早稲田」下車 徒歩3分または
バス「甘泉園公園前」下車 徒歩1分

アジア太平洋地域の リーダー育成拠点を目指すGSAPS



アジア太平洋研究科

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科(GSAPS)の基本理念は、アジア太平洋地域の歴史、社会、文化、政治、外交、安全保障、経済、産業などの諸問題をグローバルかつリージョナルな観点から学際的に研究・教育を行うこと、このような研究・教育を通じて国際的に通用する高度専門職業人を養成し、広く人類社会に貢献していくことにあります。既に本研究科の修了生は世界68カ国、約1,800人以上に及び、一般企業、ジャーナリスト、国際協力・開発援助、国際公務員・官公庁、研究者、国際ビジネスなどのフィールドで世界各地において多彩に活躍しています。

●特長

- (1) 日本語・英語によるバイリンガル教育
- (2) 世界50カ国・地域からの学生と学ぶ国際的環境
- (3) 大学院に特化した充実した研究環境
- (4) 多彩な経歴を持つ講師陣
- (5) 海外での活動を積極的に支援
- (6) 世界各国で活躍する卒業生

国際関係学専攻 MAプログラム

アジア太平洋地域を含む国際社会で活躍するプロフェッショナルを養成

修士課程「MAプログラム」は、「地域研究」「国際関係」「国際協力・政策研究」の三つの領域を持っていますが、学ぶに当たっては一つの領域に中心を置きながら、他の領域の科目も履修することができ、躍動するアジア太平洋地域を多様な角度から観察・分析する

●研究科長メッセージ

アジア太平洋地域における新たな価値の創造を目指して

アジア太平洋研究科(GSAPS)は2018年に創立20周年を迎えました。アジア太平洋地域にフォーカスした教育と研究は国内外で高く評価されています。この20年間に輩出した修士課程学生は3000名以上にのぼり、50カ国以上に及びます。日本あるいはアジア太平洋地域に限らず、世界のあらゆる地域から学生が集い、修了後はさまざまな形で社会を支え、けん引する役割を担っています。また、博士後期課程学生修了生は250名を超え、修了後は研究および教育の分野に限らず、幅広く活躍しています。

国際通貨基金の「アジア太平洋地域経済見通し」(2018年5月)によれば、アジア太平洋地域の経済見通しは依然として力強く、世界経済の中で最も活力ある地域であり、当面は力強い成長を達成すると見込まれています。他方で、近年の保護主義的な動きや地域的な緊張など、国際政治や地政学要因による影響を受けやすく、また地域内に様々な格差が存在し、多様なリスクを抱えていることも事実です。

経済の問題のみならず、教育格差、所得格差、ジェンダー格差、環境問題、貧困問題、領土問題、安全保障問題、人権問題、少子高齢化、デジタル・ディバイドなど、解決すべきさまざまな課題があります。他方で、アジア太平洋地域は、多様な文化や豊かな自然を有し、それらが一体となって、この地域の魅力を高めていることも見逃せません。

GSAPSでは、アジアがもつ多様性や潜在性、さらには抱える諸課題に対して伝統的な学問領域を超えて、学際的に教育・研究を行うことを目指し、体制の構築に努めています。単に課題の解決を志向するだけでなく、新しい価値の創造に向けた学術的貢献をめざしております。各分野の第一線で活躍する教員が、学生の学問的興味を尊重したうえで、それを研究成果として結実させるまでのプロセスとともに作り上げる努力を続けてきました。

GSAPSの国際的なコミュニティは、留学生にとって居心地が良いばかりではなく、日本人学生にとっても、日本に居ながらにして、毎日が国際交流の場となっています。ここでの経験は、将来、国際的に活躍するためにおおいに役立つことでしょう。

皆さんが、GSAPSにおける学修・研究を通じて分析能力を養い、アジア太平洋地域および地球規模での課題の解決および価値の創造に向けて貢献できる高度人材となることを期待しています。

アジア太平洋研究科長 教授 三友 仁志



ことのできる専門性を体系的に修得できるようにしています。どこに重点を置いて学ぶのか、学生個々の関心や経験、専門性によってデザインすることができます。

本プログラムは、アジア太平洋地域を含む国際社会で活躍できるプロフェッショナルの養成を目指しています。したがって、アジア太平洋地域の未来に対して問題意識を有する学部生からの応募のみならず、既に職業経験を有し、国際社会でさらなる活躍を志す方の応募も歓迎しています。

国際関係学専攻 PhDプログラム

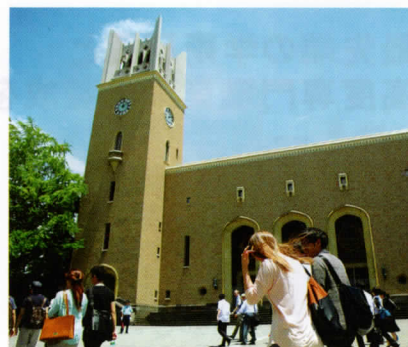
「地域研究」「国際関係」「国際協力・政策研究」の各分野をリードできる専門家を育成しています

博士後期課程「PhDプログラム」は、「地域研究」「国際関係」「国際協力・政策研究」の三つの領域を配置し、躍動するアジア太平洋地域それぞれの領域をリードできるスペシャリストの育成を目指しています。

PhDプログラムの修了要件は、単位修得を要求していないため、博士論文の執筆に専念することができます。研究所の常勤研究員、企業の社員など、有職者・社会人の学生が多数在学しています。在学者の出身大学は、早稲田大学だけでなく多様な国内、国外の大学にわたっています。

国際協力のキャリアを生かす 国際協力特別推薦入試の導入

GSAPSでは、社会人からの応募を推進する方針の一環として、青年海外協力隊、外務省専門調査員、国際NGO、海外でのCSR(企業の社会的責任)活動、その他国際協力に関連する機関等における1年



以上の国際協力活動の経験を有する方々を対象とした「国際協力特別推薦入試(修士課程)」を実施しています。国際協力活動における職務経験を活かし、国際社会での更なる飛躍を目指す方々からの応募をお待ちしています。

大学院教育の最先端を GSAPSは走り続けています

- 大学の世界展開力強化事業
ーキャンパス・アジア中核拠点形成支援(タイプA-II)(2011年12月～2015年度)
「アジア地域統合のための東アジア大学院(EAU)拠点形成構想」
- 国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム(2018年度～2020年度)
「日本と世界の経済連携を推進するための人材育成プログラム」
- JICA開発大学院連携プログラム(2018年度～)

2020年度入試概要

国際関係学専攻

【修士課程 MAプログラム】

定員:120名(4月入学・9月入学の合計)

選考方法:

国内出願 出願時の提出書類および第2次選考(小論文・面接)により総合的に審査
国外出願 出願時の提出書類により総合的に審査

■2020年4月入学

出願期間:2019年9月11日(水)～18日(水)
第一次合格発表日:2019年11月14日(木)
第二次選考日:2019年11月23日(土)

■2020年9月入学

出願期間:2020年4月上旬(予定)
第一次合格発表日:2020年5月中旬(予定)
第二次選考日:2020年6月初旬(予定)
※詳細は当研究科ウェブサイトでご確認ください。

【博士後期課程 PhDプログラム】

定員:30名(4月入学・9月入学の合計)

選考方法:出願時の提出書類および第2次選考(国内出願:筆記・面接/国外出願:電話インタビュー等)により総合的に審査

■2020年4月入学

出願期間:2019年9月11日(水)～18日(水)
第一次合格発表日:2019年11月14日(木)
第二次選考日:2019年11月23日(土)

■2020年9月入学

出願期間:2020年4月上旬(予定)
第一次合格発表日:2020年5月下旬(予定)
第二次選考日:2020年6月初旬(予定)
※詳細は当研究科ウェブサイトでご確認ください。

関東・甲信越

東海

近畿

通信教育

心理人間

哲学・文学・文化

芸術・音楽

国際

経済

ビジネス

税務

法学

政治・行政

社会環境

福祉教育

情報システム

電気電子

化学・数理・生物

体育・健康

農学・水産

その他